

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
6401	華陽フロンティア高等学校(定時制)

学校教育目標	1 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能と主体的に学習する意欲や態度を確実に身に付けさせ、生徒一人一人の個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる力を育む。 2 社会の規範を守る態度を養い、地域社会の一員としての自覚を高める。 3 健康で安全な生活を送るため、基礎体力の向上を図り、健康な心身の保持増進に努める態度を育む。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	○基礎的・基本的な知識や技能を身につけた生徒 ○主体的に学習する意欲や態度を身につけた生徒 ○心豊かでたくましく生きる力を身につけた生徒 ○社会の規範を守る態度を身につけた生徒	○「わかる喜び」の涵養(学びの「再チャレンジ」) ・ユニバーサルデザインを意識した授業 ・ICT機器の積極的な活用 ・半期ごとの単位認定 ○キャリア教育の推進 ・「コミュニケーション能力」の向上 ・社会的、職業的自立の支援 ○「カウンセリングマインド」に基づく積極的傾聴 (共感的理解・無条件の肯定的関心・自己一致)	○「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ○「なりたい自分」を見つけたいと願っている生徒 ○自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)		重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 学習指導の重点 (1)興味・関心を高める授業づくり (2)自己の在り方生き方を考える力の育成 (3)分かる授業の推進と柔軟な学習システムの研究 (4)良好な人間関係を構築する社会的な能力の育成		① 基礎的・基本的な内容の定着を目指し、ICT機器を活用した柔軟な学びのシステムを取り入れ、まとめと振り返りによる定着を進めます。 ② 生徒個々の課題を把握し、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を取り入れた社会自立につながる実践的な学習指導を行います。 ③ ユニバーサルデザインを取り入れた授業、ICT環境の利活用を促進し、充実感や達成感の得られる授業展開に努め、生涯学習につながる学習姿勢と基礎学力の定着を目指します。 ④ セルフチェックを促し、法令を遵守し、人権を尊重した対応を呼びかけ、地域に貢献できる人材の育成に努めます。	① MetaMoji Classroomなどの学習システムを取り入れた授業展開ができたか。また「授業評価アンケート」において、興味・関心の高まりへの肯定的回答が70%以上であったか。 ② 「授業評価アンケート」の自己評価において、聞く・話す・書く・協力するスキルの定着についての肯定的回答が75%以上であったか。 ③ 公開授業週間に参加した割合が70%以上であったか。研究授業を実施し、授業改善・研究に努めることができたか。 ④ 「授業評価アンケート」の自己評価や教育相談を通して、個々の課題を把握し、支援に努めることができたか。
2 生徒支援・健康教育・特別活動の重点 (1)安心・安全教育の推進 (2)生徒と職員の信頼関係の構築 (3)生徒自らが社会的自立を果たせる支援 (4)社会の一員としての自主的・実践的な態度の育成		① 感染症予防指導、交通安全指導、薬物乱用防止指導等を徹底させるとともに、学習環境の整備・美化・保全に努めます。 ② カウンセリングマインドをもって生徒と接します。 ③ 生徒一人一人に応じた教育相談体制の充実を図ります。 ④ 物事の捉え方や考え方について支援し、問題行動の未然予防を行います。 ⑤ MSリーダーズを中心とした交通安全指導、ボランティア活動等への積極的な参加を促し、生徒の自己肯定感の向上を目指します。	① 日常の健康チェックや衛生指導、交通安全、環境美化について継続的に指導できたか。 ② 不登校経験のある新入生のうち、年間30日以上欠席をする生徒数を25%未満に減らせたか。 ③ 教育相談に関する「学校評価アンケート」における肯定的評価が、保護者で70%以上、生徒で60%以上であったか。 ④ 繰り返しの問題行動をゼロにすることができたか。 ⑤ MSリーダーズ活動を年間2回以上実施できたか。
3 進路指導の重点 (1)キャリア教育の推進 (2)ガイダンス機能の充実		① コミュニケーション能力の向上を図るとともに、生徒自身が自己の能力・適性などを理解・判断し主体的に進路設計を行う能力を育成します。 ② 様々なキャリア教育関連の行事の開催、豊富な進路情報の配信をします。	① 進学・就職で、個々の能力・適性に応じた指導ができたか。また、卒業時における進路未決定の割合を25%未満にすることができたか。 ② キャリア教育活動を通じ、卒業後に地域を担う人材としての意識付けをすることができたか。また、学校評価アンケートにおける進路指導関連項目において、肯定的評価が保護者70%以上、生徒60%以上であったか。